

## deployAsSmartObjectLayers.jsx

### 仕様

選択したフォルダ内の画像をレイヤーごとに配置しスマートオブジェクトに変換する。

それぞれの画像から幅、高さ、解像度の最大値を取得し、取得した最大値で新規ドキュメントを作成する。

例

画像01 240 × 360 px 240dpi

画像02 360 × 560 px 144dpi

画像03 420 × 240 px 72dpi

上記の場合、それぞれの最大値の 420 × 560 px 240dpi で新規ドキュメントを作成する。

カラーモードはRGB固定とする。

処理時間をファイル名にしデスクトップに保存する。

例：

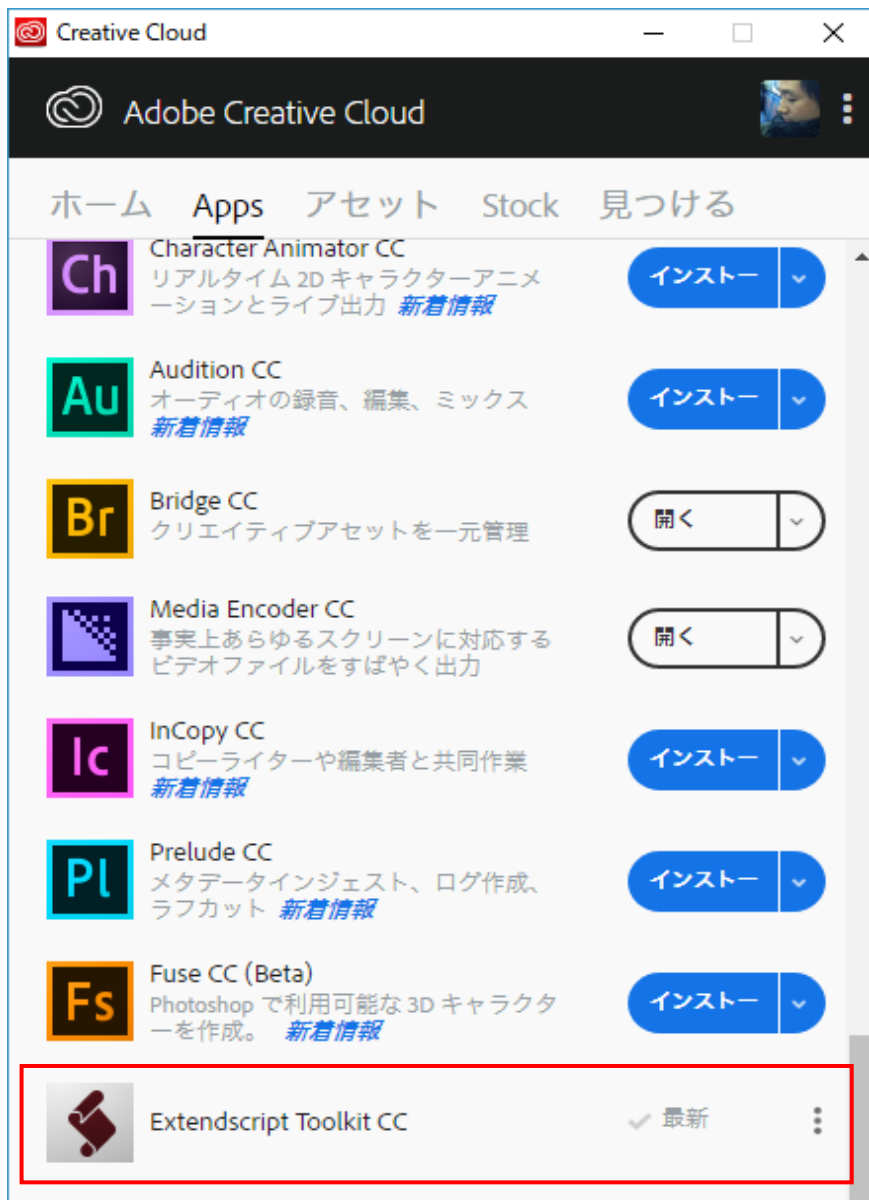
yyyy年mmmm月dddd日hh時mm分ss秒.psd

psdオプションはカラープロファイルとレイヤーのみチェック有りとする。

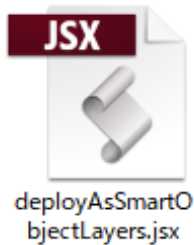
### 手順、使用方法

#### ● ExtedScript toolkitから使用する場合

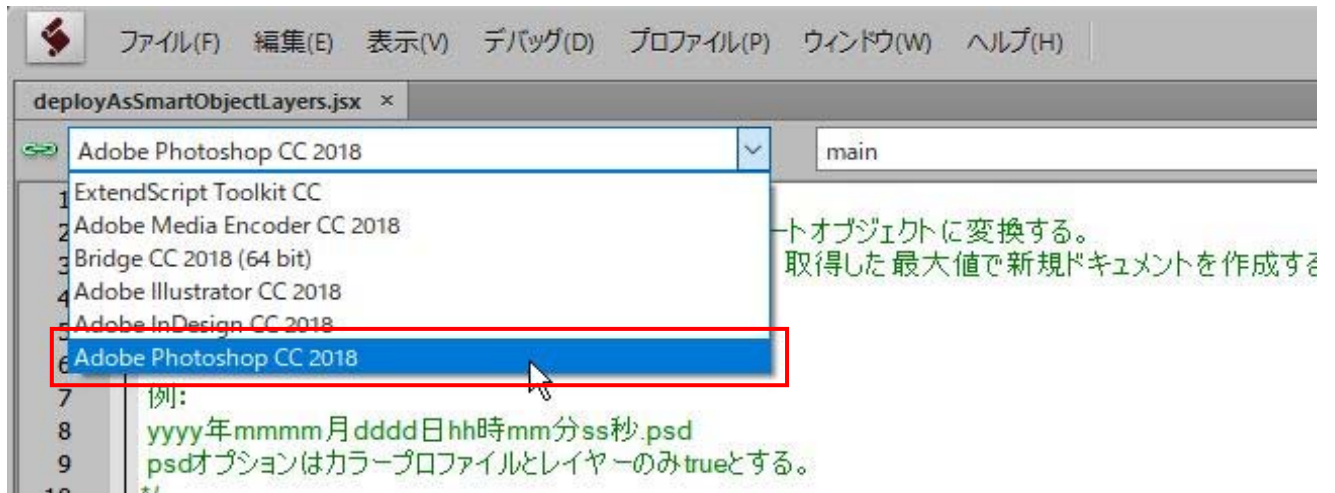
1. Adobe Creative Cloud からExtendscript Toolkit CC をダウンロードします。



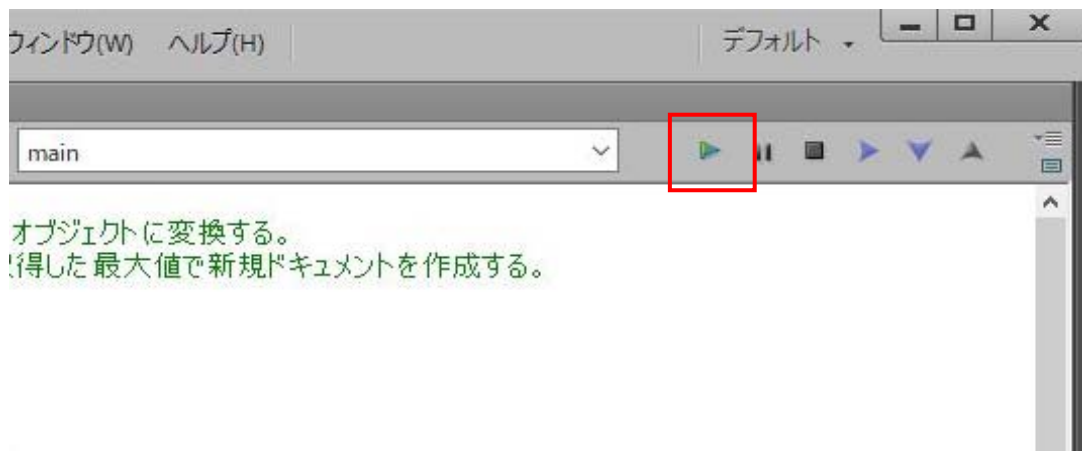
2. deployAsSmartObjectLayers.jsx をダブルクリックで開きます。



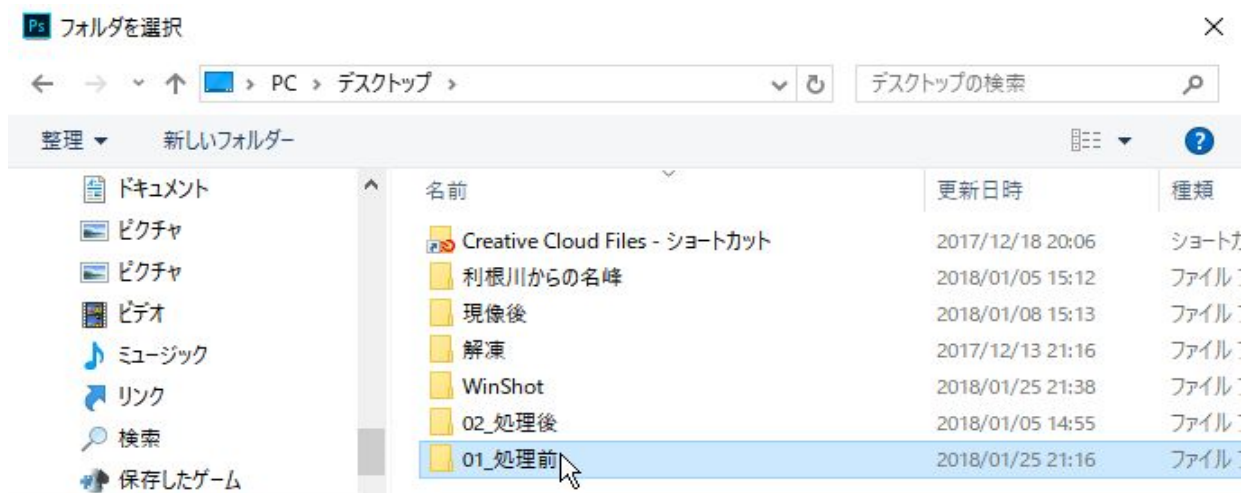
3. Extendscript Toolkit で開くので左の実行アプリ切り替えからAdobe Photoshop CC 2018 を選びます。



4. 右上の実行ボタンを押下します。



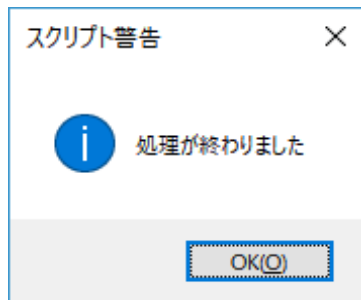
5. Photoshopに切り替わり、フォルダを選択するダイアログが表示されるので  
処理したい画像を格納したフォルダを選択し「フォルダーの選択」を押下します。



6. 処理が走りデスクトップに「年月日時分秒」のファイル名で保存されます。

「処理が終わりました」と表示され終了します。

ファイルは開いたままです。



2018年1月25日21  
時42分54秒.psd



● Photoshopにインストールする場合

Windows 10 の場合

C:\Program Files\Adobe\Adobe Photoshop CC 2018\Presets\Scripts

Macintosh の場合

/Applications/Adobe Photoshop CC 2018/Presets/Scripts

上記に deployAsSmartObjectLayers.jsx を配置しPhotoshopを再起動します。  
ファイル > スクリプト に表示されるので実行します。

